



# 神戸学園都市



## ワイズメンズクラブ

THE Y'S MENS CLUB OF KOBE GAKUENTOSHI  
THE SERVICE CLUB TO THE YMCA

2020年8月（通巻314号）

### < 主題 >

- ・神戸学園都市クラブ会長：柴田昌一：「みんなでチャレンジしよう」
- ・国際会長：Jennifer Jones(オーストラリア)：「Building today for a better tomorrow」  
より良い明日のために今日を築く、さあ働こう
- ・アジア太平洋地域会長：田中博之(日本)：「アクション！、誇りと喜びを持って」
- ・西日本区理事：古田祐和(京都トゥービー)：「Let's do it now,  
2022に向けて誇りを持って All is well」
- ・六甲部長：安行英文(さんだ)：「行動に信念を、信念は行動に」  
Believe in what you do. Do what you believe in.

### 8月第1例会

- ・日時：2020年8月20日(木)18:00~20:30
- ・場所：居酒屋「あみ」
- ・内容：納涼懇親会

### < 今月の聖句 >

「愛を身につけなさい。愛は全てを  
完成させるきずなです。」

(コロサイの信徒への手紙3章14節)

### 8月誕生者おめでとう

森本 哲男 (8/2)  
杉本裕子メネ(8/27)

### 7月の出席状況

第一例会 11名  
事務例会 11名

### 7月～累計ファンド

・CS(年賀切手)	0円
・TOF(断食)	0円
・FF(家庭の断食)	0円
・BF(古切手)	0円
・東日本募金	0円
・Yサ・ASF	0円

[役員] 会長：柴田昌一、直前会長：杉本隆人、書記：杉本隆人、会計：中村 剛、連絡主事：横山徹太郎  
[委員] 地域奉仕・環境：内田邦彦、Yサ・ユース：森本哲男、交流：隠樹圭子、ファンド：丹家元陽、仁科拓巳  
EMC：藤井久子、広報・ブリテン：田辺征一、メネット：合田純二、メール委員：田辺征一、  
[六甲部役員] JWF 委員：杉本隆人 [IBC]台湾高雄ポートクラブ(2004年1月締結)  
[DBC]東京武蔵野多摩クラブ(2011年6月締結) [DBC]岡山クラブ(2018年6月締結)

神戸学園都市クラブ 〒651-2102 神戸市西区学園東町2-1-3 TEL 078-793-7402 FAX 078-793-7470  
事務例会：第1木曜日、第1例会：第3木曜日、クラブホームページ  
<http://www.kobeymca.org/ys/gakuen/bulletin.html>

## <2020-2021 期会長就任あいさつ>

会長 柴田昌一

まずは、皆様に会長就任のご挨拶が遅れましたことを深くお詫び申し上げます。

今回のコロナ感染拡大により仕事の状況が変わり、杉本前会長をはじめ皆様に大変ご迷惑をおかけし、申し訳ありません。

この様な私がどうして会長を引き受けたのか？ 口頭では学園都市の皆様にお伝えしておりますが、第一にワイズメンズクラブとは何か、そしてワイズメンが支援しているYMCAとはどういうものなのかを知りたいという思いからです。会長になって何をしたいのか、よく聞かれましたが、それ以前に、まずYMCAを知り、ワイズメンズクラブを知ることが第一と考えております。何をしたいかはそれからです。

私は、中途半端が嫌いで、何事にも精いっぱい取り組んでいくのが信条です。後で、あーすれば良かった、こうすれば良かった、と言っても遅いですし、後悔したくありません。「生きてしんどない？」と言われたことがあります。正直しんどいです。もっと気楽に生きられたらとも思いますが、結局、私はこういう生き方しかできないようです。

仕事では、常に現場の責任者をやってきて、まず、どうすれば現場が良くなるか、皆が仕事をしやすくなるかを考えます。皆が気持ちよく仕事ができるようにするのが私の役目です。さらに、どうすればもっと会社が良くなるかを考え、経営者とも議論します。現状に満足するのではなく、もっと改善できないか、前向きに何でも取り組んでいくチャレンジ精神、それが一番大事だと考えております。皆でチャレンジしていきましょう！

私が会長を引き受けたもう一つの理由は、多くの方と接することができるであろうということです。私は人が大好きです。世の中には、いろいろな人がいて、それぞれ考え方も違います。自分の考えと違うことは受け入れないのではなく、そういう考え方もあるのだなあ、自分という小さな世界を広げていき、自分を向上させることが大事だと考えております。

最後になりましたが、このような状況ですので、皆様には大変ご負担をおかけすることになると思いますが、何卒ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



杉本前会長から柴田新会長へのバッジの引継ぎ

## <7 月例会報告>

今回のコロナ騒ぎはいろいろな方面に影響を与えています。神戸ではだれもが昔からよく知っている飲食店が次々と閉店に追い込まれ、いろいろな方面に影響を与えています。

勿論、YMCAの学生たちの間にも大きな影を落としています。学生たちの大部分は家からの仕送りではなく、自分でアルバイトをして生活しているのが実情です。そのアルバイトが外出自粛などでなくなり、生活にも困るのが現実です。国から一人10万円は支給されましたが、一回限りではとても十分とは言えません。学校閉鎖により授業はオンライン授業となりましたが、パソコンではなくスマホしか持っていない学生もおり、皆が公平に授業を受けることすら難しく、大変な時代に追い込まれています。

今後、このような学生たちを応援するいろいろな人たちの力が大事になってきました。学園都市クラブも神戸YMCAからの要請を受けて献金することを決定しました。ちなみに我がクラブの献金が一番早く届いたと聞きましたが、早いことは何をすることも一番良いことです！

(Yサ・ユース委員 森本哲男)

## <8 月事務例会報告>

日時：2020年8月6日(木) 19:00~20:15

場所：西神戸YMCA 学園都市 412号室

出席：合田、柴田、杉本、田辺、丹家、中村、仁科、野呂、藤井、森本

### 報告事項

(1) 第一回評議会審議事項について

全ての議案について賛成多数につき、承認された。六甲部則については、13票の反対があった。

(2) 西日本区事務所の盆休みについて

8月13,14日事務所は休みとなる。

(3) わいわいまつり開催について  
実施するが ZOOM によるリモートとなる。

(4) DBC 東京武蔵野多摩クラブの例会について  
ZOOM による例会への参加要請があった。

### 協議事項

(1) 西日本区臨時代議員会議案について

① 第一号議案：西日本区定款第 8 条「次期理事等の指名」の第 2 項「指名委員会は、直前理事および部長をもって構成し、・・・」に次期理事および監事 2 名を追加する。

協議の結果、本案に反対することを決定した。

② 「連絡主事」を「担当主事」に名称変更する。  
協議の結果、承認した。

(2) 今後の例会について

◎ 8 月 20 納涼例会 会場：居酒屋「あみ」

◎ 9 月事務例会 3 日(木) 21：00

◎ 9 月例会 19 日(土) 9：00～

ローンボール大会 しあわせの村

◎ 10 月事務例会 1 日(木) 21：00

◎ 10 月 17 日 “わいわいまつり”

(リモートによる開催)

◎ 11 月 7 日(土)のチャリティラン開催は未定

◎ 11 月 19 日(木) 事務例会

◎ 12 月 クリスマス会 未定

(3) ファンドについて

◎ ジャガイモについては 9 月 3 日の事務例会にて実施を協議する。

◎ 黒ニンニク販売は今回が最後となる。販売戦略の必要性を確認。

## ジブラルタル海峡クルーズと色彩の

### 王国モロッコ 11 日間」 (第 2 回)

8 月 22 日(木)

AM5:00 頃、近くのミナレットから流れるコーランで目覚める。朝食もブッフエスタイル。しぼりたてのオレンジジュースが美味(コップ 1 杯に約 3 ケのオレンジを使う)。そしてパンは素朴な味でいい。朝食後、ラバト市内観光へ。まずはムハンマド 5 世の霊廟へ。ムハンマド 5 世はフランスからの独立を勝ち取った元国王で、1961 年没。広い敷地の出入口の両側には騎馬姿の衛兵が不動の姿勢で立っていて、又、霊廟の 4 つの入口と 4 角にも深紅の衣装の衛兵が立ち、記念撮影にも気軽に収まってくれる。外は真白のタイル、中はきらびやかなモザイクタイル、そして天井のステンドグラス様の金色

のランプも美しい。石棺の中は見えないが、顔がメッカの方に向くように、横になっておられるという。同じ敷地内には、1195 年に建築を開始したが未完に終わった巨大モスクの円柱約 200 本と、これ又、未完のミナレット高さ 44m (本来なら 88m にするつもり)の壁面の模様も美しい。ここから北東の地中海に面した街 Tanger まで約 250 km は列車で。カサブランカからタンジェまで、2018 年にやっと開通した高速鉄道で LGV という。フランスの協力の元 TGV とほぼ同じ。手荷物検査機を通り、1F のプラットフォームへ。先頭と最後尾車両以外は 2 階建てで座席の前後も広く快適。ほとんど地表を走っていて、市街地は普通電車並みの速さ。農村地帯に見えるハウスは、バナナの栽培との事。ヒマワリ畑、瓜畑、刈り取られた小麦畑を走り、160 km/h → 200 → 266 → 最高 316 km/h、約 1 時間 20 分でタンジェ着。駅前には HILTON の大ホテルとかで、にぎわっていて、さすがヨーロッパからの海の玄関口であると共に、国際的な貿易都市の顔を見せる。しかし、一歩下町に入ると、そこは喧騒の世界。色々な野菜を並べた八百屋さん、色とりどりの果物を並べた果物屋さん、各家庭に必須のタジン鍋屋さんは小から大まで取り揃えている。その中の RESTAURANT KASBAH へ。中のモザイク模様が美しい。前菜はモロッコサラダ、太いキュウリの皮をむいた薄切り、トマト、レタス、紫玉ネギの細切り、コーン、そしてツナを乗せて、ほのかにドレッシングがかかっているのか解らない程だが、あっさりとしたジューシーで美味。これからこんな風なサラダが楽しめる。メインは骨付牛肉を中心に、その周りにポテト、人参、三度豆、グリーンピースをあしらったカレー風味のタジン鍋。本当においしい。こんな料理にはビールは必須のはずが、ここではダメだった。残念！デザートのスイカでフィニッシュ。さて、昼食後は徒歩での市内観光へ出発。まずメディナに入る。メディナとは旧市街の事で、周りは敵の侵入を防ぐ為に必ず城壁で囲まれている。そして、その一角には KASBAH (カスバ…要塞)がある。「カスバの女」という歌からイメージしていた、例えば三宮の東門街とは大違い。しかし、要塞に詰める兵士達が一息入れる為の場所も広い意味で、カスバと言うようになったとの事。このメディナの家々の外壁は、人の背の高さまでブルーに塗られていて、その上は白い。これも暑さ

対策。では、なぜブルーなのか。まず一番は虫対策だそうです。ブルーは虫除けになるらしい。そして目に優しい色であると共に、目の前の地中海の海の青でもあるとの事。喉の乾いてきた時、旧タンジェ港を見下ろす 1888 年創業のホテル コンチネンタルのテラスで頂く熱いミントティーで、ゆったりとした気分になるのが不思議。ホテル内の細かいタイル模様も本当に素晴らしい。今晚のホテルの前には、広い広いビーチがありヨーロッパからのバカンスの人々で大賑わい。この地下に巨大な駐車場があるとの事。夕食は外のレストランで。まずはオリーブの盛り合わせにパン、ペースト。そして

出て来たのが、親子丼大の器になみなみと注がれた野菜スープ。カボチャ風味に色々な香辛料が入っているのが、本当においしい。しかし、量が多過ぎて後のメインの事を考えると残念ながら 1/3 は残してしまった。メインは白身魚のソテーで大きな 2 切れに、小エビのミソ？ウニ？+マッシュルームをドレッシングとして頂くのかな？付け合わせには人参、ポテト、ズッキーニがたっぷり。この料理にビール、ワインなしは残酷！デザートは大量のアイスクリームと半分カットされたプリンで降参。

(丹家元陽)

### < 今月の聖句 >

**「愛を身につけなさい。愛は全てを完成させるきずなです。」**

(コロサイの信徒への手紙 3 章 14 節)

「新しい生活様式」が求められています。生活様式だけでなく、言葉かけも新しい様式が必要かもしれません。新しい生活様式の中で、自分の言葉も一度点検しなくてはなりません。

子供たちへの言葉かけを、「うるさい！」というところを「声を（これくらい）にしてくれる？」と実例をあげる。「何度言ったらわかるの！」と怒るところを「どうしたらよいと思う」と具体案を引き出す。確かに言葉を変えることで優しくなれます。言葉、行動を新しくしていかなばと思います。

エマーソンという人の言葉に次のようなものがあります。

悪意は命を閉じ込めるが、愛は開放する。

悪意は命から力を奪うが、愛は力づける。

悪意は命の味をまずくするが、愛はおいしくする。

悪意は命を悩ませるが、愛はいやす。

悪意は命の目を見えなくするが、愛は油を注ぐ。

愛というキーワードで新しく考えてみる。愛によってすべてを見ていくことができれば、コロナの時代でもできる事はたくさんありますね。

西日本区チャプレン 立野 泰博（熊本ジェーンズ）

西日本区理事通信 2020年8月号から転載